

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取中央） 10月号

（1） 利便性向上へ新拠点「J A 全農とっとり 中央物流センター」稼働開始！

10月1日、J A 鳥取中央横田肥料物流センター敷地に建設したJ A 全農とっとり中央物流センターが稼働開始した。J A 鳥取中央はピッキング作業により予約品を配達区域ごとに仕分け、配達業務および在庫管理業務を全農に委託し、効率的な仕分け業務と流通のスリム化を行う。この仕組みにより、J A は管理作業の削減と物流在庫管理を一元化することが可能となった。管理作業効率化によって創出した時間を営農指導へ注力することにより、組合員満足度の向上にもつなげる。



物流改革の実施により、配送体制の確立や将来にわたって継続できる体制を構築し、統一したサービスの提供を目指す。

（2） 中国四国5 J A 「中央サミット」が協定書に調印！

J A 名に「中央」と付く中国四国地方の5 J A が連携するJ A 中央サミットの調印式が10月9日、広島県廿日市市で開かれた。鳥取県の鳥取中央、愛媛県のえひめ中央、広島県の佐伯中央、広島中央、J A 山口県(旧 J A 山口中央)で構成され、各 J A の組合長などが「事業連携協定書」と「災害時支援協定書」に署名し、一層の連携を強化する。また、中国四国以外の「中央」が付く J A にも参加を呼び掛けていくことも確認した。



（3） J A 鳥取中央グループ全従業員研修を開催！

J A 鳥取中央は10月2日から4日までの3日間、本所で全従業員研修を開催した。J A 職員ならびに J A 子会社社員を含め約 900 人が参加し、コンプライアンス、人権啓発、情報セキュリティの3つの研修を実施した。

コンプライアンス研修では「不祥事事例の傾向について」と題し、J A における不祥事発生状況や未然防止策などを学んだ。

栗原組合長は『情報通信技術が発展する社会において情報セキュリティに対する知識を持ち、認識を高めてほしい』と話した。



(4) 第9期女性大学「ルミナール」入学式を行う！

10月7日、第9期目となる女性大学「ルミナール」の入学式を開き、15人が入学した。今後、野菜の栽培・収穫体験や親子で肉料理、ハンドメイド教室などのカリキュラムを体験する。学長を務める栗原組合長から、受講生代表が学生証を受け取り『人とのつながりを広げ、経験を積み、よりすてきな女性になりたい』と抱負を述べた。

